

地域と共に歩む子育て交流会 ～ママ達に寄り添って～

住吉第2地区民生委員児童委員協議会では、平成12年11月に子育てサロンを立ち上げました。何も分からない状態で始め、保健所で開催した「親子遊び」を見学し、参加している親子があまりにも多いことに驚かされ、居場所作りの必要性を切に感じました。これは是非自分達の地域でも居場所を作らなければ…と思い、さっそく関係機関と話し合いを始めました。

居場所作りの大切さ、これは私達の合言葉のようです。ただそれだけでいい、わずかの時間でも子どもから離れてお友達とおしゃべりが出来れば…その間、お子さんはおばさん達がお預かりします、と思っています。お友達を沢山作ってください、そしてお互いに励まし合い、自信をつけてくださいという気持ちで、12年間運営してきました。

サロンでは…

「子育て交流会」とあるように、あくまでママたちに交流の場を提供することを念頭におき運営しているので、呼びかけのチラシや、年間予定表を作成し、新規で来られた方たちに渡しています。

会場は11月から4月にかけては苅宿町内会館、5月から10月は本月4丁目共和会館と冷暖房の設備の関係で季節ごとに使い分けています。

スタッフは主任児童委員2名と20数名の民生委員。男性陣は、会場の入り口で、ベビーカーの整理や、警備担当をしてくださり、ママたちは安心して交流の場に参加できます。

交流会はこの7月で130回を迎え、参加された親子は延べ約4000組を数えます。毎回新規で10～25組（その時々でかなり人数のばらつきがあります）もの親子が参加されています。継続で来ている方も多く、40組以上集まると会場がぎゅうぎゅうになり赤ちゃんを寝かす場所もない位になります。

会場に入って来る時は、不安で一杯の表情だったママたちも、帰る時は笑顔になって、お友達を作っています。

お手伝いをしている私達も、その笑顔で心がなごみます。

ママも赤ちゃんも心穏やかに子育て時期をすごせるようにお手伝いをしているのですが、お手伝いをしている私たちが、赤ちゃん達から癒され、元気をもらっているように思います。

これからも楽しく笑顔で集い、帰れるように心をこめて運営していこうと思います。

10年の歩み

平成12年11月、住吉第2民協で「子育て交流会」発足

- 14年 大戸地区子育て支援のモデルを作る
- 15年 中原区全地域で展開
- 18年 事務局を中原区こども支援室に設置
- 19年 中原区子育て支援推進実行委員会運営部会を立ち上げる
- 20年 中原区子育て支援、5周年を迎える
- 22年 住吉第2民協「子育て交流会」10周年
10周年記念ミニ冊子作成
- 24年 中原区子育て支援、10周年を迎える
住吉第2民協「子育て交流会」12周年



会場入り口にのぼりを立て、ママたちが入りやすい工夫をしています。

保育士さんからのひとこと



保育士岩井さんの読みきかせ。子どももママも興味しんしん…。



岩井さんと手遊びを。岩井さんの回はいつも満員です。

地域で活動する保育士の岩井さん。子育て交流会の立ち上げの際にお手伝いいただき、しばらくサロンを離れていましたが、平成23年度から再び年に2回サロンを訪れ、親子にふれあい遊びなどを教えてくださっています。

久しぶりに親子遊びのお手伝いをし、参加人数が多い事にびっくりしましたが、楽しく参加している親子の姿を見て、活気とパワーをもらいました。

そして、スタッフの方々の出会い、触れ合いを大切に地域と共に子育てを応援してきた姿勢を見て、ママ達の立場に寄り添った場作りができている10年だと感じました。

保育士 岩井 好美

※子育て交流会※

平成24年度活動日程

住吉第二地区

月	日	会場名	内容(予定)
12	4	27	米月 4 丁目 西和会館
1	5	25	※
6	22	※	※
7	22	※	※
8	—	—	※
9	28	米月 4 丁目 西和会館	※
10	26	市野町内会館	※
11	16	※	※
12	—	—	※
1	25	市野町内会館	※
2	22	※	※
3	22	※	※

年間予定表を年度始めに全員に、そして毎月新規に来られた方に渡しています。

一足先にサロンを立ち上げたため、平成22年には10周年記念誌を作成しました。



民生委員・児童委員の男性陣が、毎回ベビーカーの整理と警備を担当してくださり、ママたちは安心してサロンに参加できます。